報告

4 th International Fuzzy Systems and Intelligent Control Conference (IFSICC'96) に参加して

前田 陽一郎*

1. はじめに

1996 年 4 月 8 日～4 月 10 日までの 3 日間、マウイ(ハワイ)にて開催された IFSICC'96(4 th International Fuzzy Systems and Intelligent Control Conference)に参加したので報告いたします。本学会は Louisville 大学に設置された“ファジィシステムと知的制御協会”(Institution for Fuzzy Systems and Intelligent Control: IFSIC)が主催する今年で 4 回目の国際会議です。今回は不況のため日本からの参加が少なく、参加者数約 50 名、発表件数 43 件(うち日本人 11 件)とかなり小規模な学会でした。

2. 学会会場

学会はマウイ島ワイレア地区のほぼ中央にある Aston Wailea Resort Hotel(写真 1 参照)で開催されました。学会直前にしばらく雨が降っていたようですが、学会のあった 3 日間はよく晴れて、とても良い天気でした。学会の Call for Paper などには Maui Inter-Continental Resort Hotel として案内が出されたのですが、実はこのホテル、今年 2 月に名前が変わったばかりで少々参加者には混乱のもととなったようです。さらに悪いことに、このホテルでは同時に医学系の学会(UCSF Primary Care Medicine)が隣りで開催されており、筆者も間違っ入りそうになってしまいました。

参加者約 50 名のうち日本人はだいたい 20%程

写真 1: 会議があった Aston Wailea Resort Hotel

度でしたが、やはり不況の煽りからか企業からの参加者がほとんどおられなかったのは寂しい限りでした。学会のあった部屋(写真 2 参照)はホテルの庭園に面しており、センションのあいだ中、小鳥のさえずりが聞こえており、非常に穏やかな雰囲気の中で行なわれました。

3. 会議内容

3 日間にわたり毎日センションの最初に 1 時間の Plenary Session がありました。以下に講演のタイトルと講演者を示しておきます。

- “Fuzzy Methods in Information and Decision Technologies” (Ronald R. Yager)
- “Fuzzy Set Information Technology: From System Modeling to Data Mining” (Witold Pedrycz)
- “Measures and Principles of Uncertainty” (George J. Klir)

* Yoichiro MAEDA
大阪電気通信大学

写真2：学会会場となった部屋の入口付近の風景

セッションはパラレルではなく1室のみで、以下のようなテーマで実施されました。括弧内に発表件数を示しておきます。

- Plenary Session (3)
- Fuzzy Logic Control (11)
- Fuzzy Systems (13)
- Neural Networks (5)
- Genetic Algorithms (6)
- Soft Computing (4)

私も含め日本人は11件の発表がありましたが、そのほとんどが一時流行したファジィ制御関連ではなかったようです。全体としては最近の傾向どおり、ニューラルネット、GAといったSoft Computing関連の発表が比較的多かったような気がします。

特にファジィ応用研究として筆者がおもしろいと感じたものに、パラシュート誘導システム、フリーウェイランプのメータ制御、先生の適正検査のファジィ評価、ビスケットベーキングにおけるセンサフュージョン、アルコール発酵プロセス、ファジィバーコード解読方式、などがありました。これらの中には今すぐに実用化できそうな研究もあり、大変興味深く聞くことができました。

学会の規模が比較的小さいため、運営や事務処理についてはいくつかの不手際もあったようです。例えば、Proceedingsの印刷が間に合わず、初日の午後に配布されたことや、このProceedingsの表紙タイトルの年号が‘1994’になっていたり、事務局

や受付がないためレジストレーション関連の質問をするところさえなく、いろいろと不便を感じました。しかしながら、小さい学会ならではの良さも一方にはあり、レセプションこそありませんでしたが、コース料理を全員で一緒にラウンドテーブルでいただく昼の会食はアットホームな雰囲気で開催者にはなかなか好評であったようです。

4. 会場周辺

会場となったホテルのあるワイレア地区はマウイでも屈指の大規模リゾート開発地域で、最初にマウイ島でリゾート開発されたカアナパリ地区と並んで最新のリゾートホテルが立ち並ぶ美しい海岸エリアです。マウイ島はホノルルのあるオアフ島に比べて、日本人観光客が比較的少なくのんびりしており、リゾート気分を味わうには最高の場所です。筆者はマウイ島滞在中、レンタカーを借りていたため1時間半程度でワイレアからカアナパリにも足を延ばすことができました。観光スポットはむしろこちらのほうに集中しており、ラハイナの街でバナアン樹を見たり、砂糖きび列車に乗ったりと遊ぶには事欠かないスポットがたくさんあります。

またワイレアからも比較的近い観光スポットとしては、ハレアカラ火山観光もあります。ヘリコプターで上空から火山を周回したり、山の頂上にあらかじめ用意された自転車で海岸まで一気に下るツアーなど数々のおもしろいオプションツアーがあるようです。私は今回体験できませんでしたが、次回プライベートで来たときには是非やってみたいと感じました。

もしこれからハワイに行かれるという方がおられましたら、リゾート気分を満喫できるという意味で絶対にオアフより、マウイをお勧めします。是非一度訪れてみてください。但し、水着と運転免許証(国際免許は不要)だけはくれぐれもお忘れなく...

5. おわりに

本学会は今まで2年に一度のペースで開催されてきたそうですが、次回は翌年開催されるそうで

す。場所は Texas A&M University で行なわれることがアナウンスされていました。この学会はかなりローカル色の濃い学会ですが、毎年主催者は変わらず、来年で5回目を迎えます。このような比較的小規模な学会でも大きな学会に比べて逆に参加者同志がじっくりと議論できるというメリットもあります。いろいろと不便を感じたところもありましたが、このような手作りの暖かきをもつ国際会議は今後とも続いてほしいものです。

[問い合わせ先]

〒 572 大阪府寝屋川市初町 18-8

大阪電気通信大学 情報工学部 情報工学科

前田 陽一郎

TEL & FAX : 0720-25-4698

E-mail : maeda@mdlab.osakac.ac.jp (大学)

maeda@mxs.meshnet.or.jp (自宅)